

攻めの姿勢で営業力強化！

新システム導入で業務改革

—— じっとしているだけではだめ ——

2010年3月、岡山中央魚市様(同前祐一朗社長)は当社開発水産卸システムのバージョンアップを行い、現場入力・冷蔵倉庫連携システムを導入！

今上半期、全国の中央卸売市場水産卸が単価安や取り扱い減に悩む中、同社は「じっとしているだけではだめだ」と攻めの営業で、前年同期比3・7%の増収を達成。

新システムの導入により、業務の効率化、営業部門の増強を図る！



岡山中央魚市株式会社
代表取締役社長
同前 裕一朗 氏

ユーザプロフィール

【岡山中央魚市株式会社】

代表取締役社長 = 同前 裕一朗 氏

2010年3月期 = 129億1625万円
(前期比94.9%)

売上比率 = 鮮魚59%

- ・冷凍17% ・塩干加工19%
- ・その他5%

2011年3月期予想 = 136億円

役員 = 役員6人・社員67人・
パート19人

冷蔵倉庫

- ・第1 (冷凍3471トン)
- ・第2 (鮮魚264トン/冷凍187トン)

所在地 〒702-8052

岡山市南区市場1丁目1番地

URL : <http://www.okachu.co.jp/>

創立 : 昭和29年4月

同社は1983年の市場開場と同時に販売管理システムを導入するなど、IT戦略を重視してきた水産卸です。ホームページを早期に立ち上げたほか、「よりスムーズにコンピュータの環境に入っていくため」(同前社長)と、役員、管理職以上の机にパソコンを配置。ハード、ソフト両面からIT戦略を構築してきました。システム導入から20年が経過した2003年、さらに進んだシステム導入に向けて、市場に特化したソリューションを推進している当社と協力し、独自システムを開発。水産卸向けシステムの基盤を作りあげました。

■ 冷蔵庫連携を導入

新システム導入から7年が経過した2009年、システムのバージョンアップに着手しました。同社の開発コンセプトは「正確さ」「スピード」「低コスト」。そのほか、情報の一元化、現場入力によるリアルタイム処理の推進、紙ではなく印刷イメージのままデータ保管する帳票の電子化、オンライン化・システム連携による冷蔵倉庫業務効率化を

目指しました。

さらに、「使いこなすのは人。使う人間がこのシステムを必要と思えなくてはいけない」(同)と、現場レベルでの使い勝手や操作性を重視して、バージョンアップを実施しました。

新システムで特に効果が出ていると同前社長が紹介するのが冷塩課です。現場入力画面を営業担当者と作り込み、自社冷蔵庫である第1冷蔵庫とオンライン化することで機械的に管理。販売原票の電子管理により、「現場入力さえすればほぼ当日の業務が終わってしまう。営業社員は落ち着いて営業活動の時間が持てる」と予想通りの効果を発揮し、営業力強化につながっています。

現場入力した情報はリアルタイムで冷蔵庫に伝わり、画面を確認後、すぐに出庫作業に取り掛かることが可能です。入庫情報を事前に確認することもでき、業務の効率化が進みました。今後は自社荷物以外の需要を見込んだ営業にも力を入れていく方針だそうです。同前社長は「選ばれる市場、選ばれる卸、そして地域密着」と、今後の営業方針を説明します。同市場の商圈では鮮魚の取り扱いが多く、地魚

に対して根強いニーズがあります。

業務効率化により、事務作業を早く終えた社員は、産地開拓のため生産者を訪ねるなど、徐々に効果が現れ始めています。秋商戦、年末商戦と地魚の動きも活発になり、年間で最大の商戦を迎える。時期になりました。

アポイント
説明

-都築電気冷蔵庫連携のコンセプト-

～在庫情報の一元化～

システムの核である在庫情報を市場、倉庫と統合を図る事により、情報のリアルタイム化、情報精度の向上、情報のシームレス化を実現

営業より倉庫への迅速な出荷指示を実現！

得意先への迅速な在庫確認を実現！

長期に渡っての入在庫予定の把握による棚管理の向上！

■提案営業への足場作り

同前社長は「中央卸売市場の規制緩和が進むとともに、市場外に出て営業して行く時代へ」と、今後に向け、末端のお客への提案営業のための足場づくりに取り組んでいます。地魚需要の高い地域だけに、よりタイムリーな情報を生かした仕入れ、供給を行っていく事は重要です。荷主開拓、販売先の拡大など前向きな投資で成長軌道を描いています。また、同市場全体としては「水産卸2社、青果卸2社が同じ都築電気のシステムを採用していることもあり、市場内の情報インフラ整備(情報のクラウド化)を進め、さらなるコスト削減なども図れるのでは」との構想も持っています。

〈みなと新聞 2010年10月20日 7面より抜粋〉

都築電気水産卸業様向け ソリューション3つの特徴

その1

オープン

- ・開発プログラムについては、業務システム開発にて最も信頼性の高い言語での開発。
- ・帳票については、お客様での改造が容易且つ柔軟なレイアウトが作成可能な帳票ツールにて開発。
- ・高速且つ安定性の高いデータベースを標準適用。

その2

効率化 省力化

- ・スクロール、リストボックス等のパソコン特有の操作機能を利用した容易な操作性。
- ・豊富な検索機能且つ多確度な検索指示項目を用意し入力作業の効率化。
- ・売場での即時入力を行い作業の効率化、取引先への迅速な対応を実現。
- ・市況、報告については、自動ファクスを適用し作業の省力化を実現。

その3

トータル

- ・情報の連携、一元化によるトータルシステム。
- ・EOS,EDI等の取引先外部連携及び冷蔵倉庫等の内部業務連携が可能。
- ・実績/統計情報システムとの連携。

システムご検討の際は、都築電気へご相談を！

ツヅキデンキ
都築電気株式会社

<http://www.tsuzuki.co.jp>

〒105-8665 東京都港区新橋6丁目19番15号(東京美術倶楽部ビル) (03)6833-7709

お問い合わせ先

担当部署： 営業推進部

電話番号： 03-6833-7709

E-mail: webinfo@tsuzuki.co.jp

商品紹介 URL: <http://www.tsuzuki.co.jp/mm.html>